

### 1 自己評価及び第三者評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2872700436		
法人名	社会福祉法人きたはりま福祉会		
事業所名	グループホームりんりんの里		
所在地	兵庫県多可郡多可町中区鍛冶屋763-3		
自己評価作成日	令和3年12月17日	評価結果市町村受理日	令和4年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/28/">http://www.kaigokensaku.jp/28/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-25-224		
訪問調査日	令和3年12月27日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

看護、介護が連携し、個々の健康状態を把握しながら援助し、家庭的な住環境や生活援助のもとで住まい穏やかで心地の良い生活が送れるように支援している。  
また、身体状況が重度化した利用者に対してもケアを行えるように対応している。

#### 【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かな環境にある、特別養護老人ホーム・デイサービス等を有する高齢者施設内の事業所である。複合施設の利点を活かし、研修・委員会・災害時訓練・施設行事や活動・看護師との医療連携等を利用者の生活向上に反映できる体制がある。共用スペースは広く、両サイドの大きなガラス扉・吹き抜けの天井から採光がよく開放的であり、菜園では野菜や果物を植栽し、収穫・調理に参加し、季節感を感じられる環境である。今年度のグループワーク発表会のテーマを「認知症ケア」とし、グループホーム会議で勉強会や検討を行い事業所での個別ケアに活かせるよう取り組んでいる。コロナ禍のため施設内交流や外出を休止しているが、日々の体操・レクリエーション・家事参加・食事イベント等、日常生活の中で楽しみや役割が持てるよう支援している。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および第三者評価結果

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1	(1) ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の基本理念を共有できるように施設内に掲示すると共に基本理念を記載したカードを各自持ち、確認すると共にミーティング等で確認し、理念達成に向けて取り組んでいる。	法人全体の理念・基本方針を、事業所の玄関に掲示し、職員が携帯するカードに記載し、また、毎朝のミーティングで唱和し共有を図っている。毎年実施される施設内のグループワーク発表会で、今年度は「認知症ケア」をテーマに挙げ、グループホーム会議等で職員全員で取り組み、理念・基本方針の実践につなげている。	
2	(2) ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事等の外出時にて地域の方々と関わりを持ち、また、地域の方々にも参加を呼びかけた行事等によっても地域との交流を図っている。	通常は、施設内の音楽療法・生け花クラブ・ボランティアのイベント・「しあわせ荘祭り」に参加し、利用者が地域と交流できるよう取り組んでいる。町役場での「心配ごと相談」・大学生の介護体験の受け入れ、認知症サポーター養成研修等、地域貢献も行っている。コロナ禍のため上記は休止しているが、多可町内グループホーム協議会での情報共有や意見交換、地域からの相談対応等、可能な方法で地域とのつながりが継続できるよう取り組んでいる。	
3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内の他の部門との連携によって認知症やその他様々な相談に対応できるようにしている。		

グループホームりんりんの里

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3) ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行っている。また、そこで出された意見をサービス向上に活かしている。	通常は、家族・民生委員・施設長・職員が参加し、年6回開催している。会議では、利用者状況や事業所の活動・行事等の報告を行い、参加書と質疑応答、意見・情報交換を行っている。会議録のファイルを玄関に設置し公開している。コロナ禍のため、令和2年3月以降は、会議の開催を休止している。	会議開催が困難な場合は、議事録を構成委員に郵送し、利用者や事業所の状況等を報告することが望まれます。また、「意見・情報用紙」等を同封し、返信された意見や情報を次回の議事録で共有し、書面開催でも意見・情報交換できるよう工夫されてはどうか。運営推進会議再開後は、構成委員として、利用者・行政・知見者の参加が得られるよう取り組まれることを期待します。
5	(4) ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政担当者と定期的連絡を取り情報を共有するようにしている。今後、地域の連絡会などにおいても意見交換や情報交換の機会を作っていきたい。	グループホームを含め施設全体で、日頃から町との連携を深め、協力関係を築いている。地域ケア会議やケース検討会に参加し、町と意見・情報交換し協働している。コロナ予防対策について、ワクチン接種や物品支給等でも町との連携がある。	
6	(5) ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者、全職員が、身体拘束をしないケアを方針とし実践すると共に、研修によっても対応策を検討し取り組んでいる。	身体拘束をしないケアを実践している。施設全体で「身体拘束に関する指針」を整備し、3ヶ月に1回「身体拘束廃止委員会」を実施している。事業所から主任が参加し、委員会議事録の回覧により職員の周知を図っている。施設内研修で「身体拘束廃止の取り組み」研修を実施し、事業所からも参加している。参加できなかった職員は、資料の回覧により周知を図っている。共用空間は開放的で、通常は玄関を施錠せず、希望があれば施設敷地内を散歩し、利用者が閉塞感を感じないように支援している。	委員会議事録や研修資料の周知を明確にする工夫が望まれます。

グループホームりんりんの里

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止については、研修等を通じて共通認識を持ち、虐待が起こらないように努めている。	「高齢者虐待について」も、上記と同様の方法で研修を行っている。言葉かけや対応、申し送りノートに記載について、気になる内容があれば、施設長や主任が注意喚起を行ったり、グループホーム会議でも採り上げ、意識向上に努めている。職員間の話しやすい関係づくりに努め、情報共有や支援方法の検討を行い、職員のストレスや不安がケアに影響しないように取り組んでいる。ストレスチェックや「健康便り」等、法人としての取り組みもある。	
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、内部研修等により制度の周知と内容の理解に務めている。	成年後見制度を活用している利用者について、金銭管理、近況報告、介護計画の同意等で後見人と連携し、制度利用を支援している。今後も制度利用の必要性や家族からの相談があれば、施設長が窓口となり、町役場と連携しながら支援する体制がある。	年度内の施設内研修に、権利擁護に関する制度について取り入れる予定である。
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約にあたっては、重要事項説明書によって料金、緊急時の対応、その他退去時の部屋のリフォーム等について説明し、疑問点についても十分に説明し理解を得るようにしている。	入居希望者には、主にホームページやパンフレットで情報提供している。契約時は、契約書・重要事項説明書・指針・同意書等に沿って説明し、文書で同意を得ている。特に共通認識が必要な内容については、「契約時チェックリスト」で確認している。契約内容に変更が生じた場合には、変更内容を説明した文書を作成して郵送し、文書で同意を得ている。	

グループホームりんりんの里

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員へ表せるように意見箱を設置したり、個々の利用者への様子をお知らせし、意見をうかがうように取り組んでいる。	家族の来訪時や電話で近況を報告し、意見・要望の把握に努めている。通常は、新年会や施設の「しあわせ荘祭り」で交流したり、運営推進会議に参加があり、意見・要望の把握の機会としている。コロナ禍のため機会は減少しているが、利用者担当職員が2ヶ月に1回お便りと写真を郵送して体調や生活の様子を伝え、施設が3ヶ月に1回「しあわせ荘だより」を郵送して行事や活動の様子を伝え、意見・要望が出やすいように努めている。玄関に、意見箱を設置している。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主任会議での要望の発議であったり、職場での会議において提案や意見を聞く機会を設け、重要度や緊急性を鑑みて反映させるようにしている。	グループホーム会議を2ヶ月に1回開催し、個別のケース検討・グループワーク・研修等を行っている。日々の共有事項や検討事項は、毎朝のミーティングや業務の中で検討し、申し送りノートで共有したり、内容に応じて主任・施設長を交えて検討している。各種委員会(サービス向上、広報、行事、ケアマネ・身体拘束)に事業所から委員が参加し、主任会議には主任が参加し、職員の意見を反映できるよう取り組んでいる。個別の意見・提案については、施設長・主任が随時聴く機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。		

グループホームりんりんの里

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13			○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修を受ける機会を確保し、また、資格取得についても奨励し、研修等の参加あたっては参加しやすいように勤務を調整するなどしている。		
14			○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が同業者と交流する機会を持ち、法人内部でのケア研究を実施し、ケアの質の向上に努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15			○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約、入所時に、本人から現在の生活状況、入所後の要望等を確認し、入所に際して安心して日常を送れるように配慮している。		
16			○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時、入所時に、家族等が困っていること、要望等事前に聞き取り調査を行い、関係づくりを行っている。		
17			○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申し込み等の相談において、本人や家族の現状や思いを聞き取り、必要とされるサービスや支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18			○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者とのコミュニケーションを図りながら、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19			○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と家族が円滑に連携を図れるように連絡を密に行い、行事や報告会等にも積極的に参加してもらえよう働きかけている。		

グループホームりんりんの里

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(11) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の自宅等の馴染み場所にも希望があれば職員が同行してお連れする等、関係が途切れないようしている。	通常は、家族・友人・知人の来訪があり、施設内の音楽療法・生け花クラブ・「しあわせ荘祭り」等に参加し、馴染みの人との関係継続の機会作りを行っている。外食、ドライブ、自宅やお墓参りへの個別外出等、馴染みの場所との関係継続も支援している。コロナ禍のため外出や交流を休止しているが、方法を工夫しながら家族との面会を徐々に再開している。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、適宜職員が関わりを持ちながら、時に大きく介入が必要な場合かを見定めながら、利用者同士が円滑な関係を継続できるように努めている。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約解除後にも、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、法人内の他の部門と連携にし必要な相談や支援できるようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	(12) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、家族に過去の生活ぶり等を尋ねるなどして適宜対応している。	入居時に把握した利用者個々の暮らし方の希望や意向を「フェイスシート・アセスメントシート」に記録し、支援や施設サービス計画に反映できるよう努めている。入居後の日々のコミュニケーションで把握した思いや意向は、観察記録に記録し共有している。把握が困難な利用者については、日常の会話や表情・動作から把握に努めている。利用者担当職員を設け、訴えの多少にかかわらず、把握できるよう配慮している。	利用者の生活歴・生活習慣・趣味・嗜好等について、入居後のコミュニケーションや家族から把握した情報についても、「フェイスシート・アセスメントシート」に追記して共有し、個別支援に反映することが望まれます。

グループホームりんりんの里

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24			○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等は今の把握に努めている。		
25			○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの一日の経過を個人カルテに記入し、その他、特物に留意すべき事項については、申し送りやノートにより過ごし方、心身状態について把握するようにしている。		
26	(13)		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケース検討会議等で随時話し合い、本人や家族の意向を十分に考慮した介護計画を作成している。	「フェイスシート・アセスメントシート」「ケアチェック表」をもとに、初回の施設サービス計画書を作成している。サービス実施については各種チェック表に、1日の経過や利用者の様子を「観察記録」に記録している。3ヶ月に1回「モニタリング記録表」でモニタリングを行い、大きな変化がなければ6ヶ月に1回計画を見直している。計画を見直す際は、「モニタリング記録表」の評価と「ケアチェック表」の再アセスメントをもとに、介護職員・看護師の意見を集約して検討し、サービス担当者会議録に記録している。	施設サービス計画書・サービス担当者会議録を綴じたファイルが設置されているので、ファイルを活用し、職員に計画内容の理解を促すと共に、記録のルール化により計画にもとづいた記録ができるよう取り組まれることが望まれます。
27			○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やその他気づき等やケース記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しにも活かしている。		



グループホームりんりんの里

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況や、希望等に対応するために他の事業所との連携を図り、サービスの提供を行っている。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣自治会との連携を図り、地域行事への参加、また、医療、消防等でも地域の他の機関と協力関係を築いている。		
30	(14) ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、当事業所で連携している嘱託医がかかりつけ医であることを家族に説明し同意を得ている。そして、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に事業所の医療連携体制を説明し、施設の嘱託医をかかりつけ医としている。施設の看護師が健康状態を確認し、必要時はかかりつけ医にファックス等で情報提供して指示を受け、適切な医療を受けられるよう連携している。受診など医療についての記録は、介護職員・看護師が観察記録に記録し、申し送りノートでも共有している。	
31	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、法人内の看護職に相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32	(15) ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際、安心して治療できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。	入院時は、施設の看護師がかかりつけ医の指示を仰ぎ、「看護サマリー」を作成して入院先の病院に情報を提供している。入院中は、看護師が病院の担当者と情報交換し、早期退院に向け支援している。退院前カンファレンスがあれば、看護師・介護職員が参加し、退院時は「看護サマリー」で情報提供を受け、退院後の支援に反映している。入院中、退院時の情報は、朝の申し送りや申し送りノートで情報共有している。	

グループホームりんりんの里

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(16) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、法人内の関係者と共に支援に取り組んでいる。	入居時に重度化対応についての事業所の方針を説明し、緊急時対応について家族の意向を確認している。経口摂取や入浴が困難な状況になったり、医療的な処置が必要になった場合は、看護師がかかりつけ医の指示の下、事業所で出来ること出来ないことを家族に説明している。法人内の特別養護老人ホームへの住み替えも含め、家族の意向に沿った支援に取り組んでいる。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内の研修において、急変や事故発生時に迅速に適切な処置を行えるように訓練し備えている。。		
35	(17) ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間の研修計画に基づき火災等災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できるように訓練を行い。また、地域との協力体制も訓練により築いている。	毎年、年に2回(10月・3月)、施設合同で日中想定・夜間想定 of 通報・消火・避難の総合訓練を、利用者も参加して実施している。出勤職員全員が参加し、施設内の連携体制も確認している。また、職員全員が順次訓練に参加できるようシフト調整を行っている。年に1回は消防署の立ち合いもあり、総評や助言を受けている。地域の消防団との連携体制も整備されている。備蓄は施設合同で行い、管理栄養士が責任者となり管理している。「非常災害時の対応」研修も実施している。	

グループホームりんりんの里

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを徹底して、特に入浴、排泄等対応については尊厳やプライドを傷つけないように対応するようにしている。	「プライバシー保護及び個人情報の取り扱いについて」「認知症ケア」研修の中で、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応について学ぶ機会を設けている。サービス向上委員会の中で、プライバシー保護・5S・言葉遣い等についての検討や、他部署評価を行い意識向上に取り組んでいる。事業所内では、グループホーム会議の中で採り上げ注意喚起している。個人情報に関わる書類は鍵のかかる職員室に保管している。「しあわせ荘だより」やブログでの写真の使用については入居時に「契約チェックリスト」で確認している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、利用者の意向を尊重し、思いや希望を聞いたり、また、選択の機会や自己決定の機会を提供できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのライフスタイルに出来るだけ沿うように対応するため希望にそって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。		

グループホームりんりんの里

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの嗜好を把握し、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	炊飯は事業所で行い、施設内の厨房で調理された食事を盛り付けて提供している。ソフト食等、利用者の状況に応じて食事形態に対応している。献立に季節感や行事食への配慮があり、給食会議が2ヶ月に1回開催され、事業所からの意見・要望を献立等に反映している。畑で栽培した野菜を活用して献立に加える時は、野菜の下準備などに利用者も参加している。誕生会や事業所内での夏祭り等で趣向を凝らしたり、出前等も活用し、食事がより楽しみになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの状態や能力に応じて口腔ケアを実施している。		
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者個々の状態や排泄のパターン、習慣を把握し、自立にむけた排泄の支援を行っている。	「排泄・食事表」で利用者個々の排泄パターン・排泄状況を把握している。排泄の自立度の高い利用者が多く、必要に応じて誘導や確認を行い、日中はトイレでの排泄を支援している。夜間は、安眠にも配慮し個別の支援方法で対応している。検討事項や共有事項があれば、朝のミーティングや申し送りノートを活用し、現状に即した介助方法や排泄用品の使用につなげている。看護師が別途「排便コントロール表」(半月ベース)を作成し、連携している。ドアの開閉、自立支援に留意し、プライバシーや羞恥心への配慮を周知している。	

グループホームりんりんの里

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適当な散歩や各種アクティビティ・レクリエーションにより運動不足の解消に努め、また、個々に十分に水分を摂取できるように援助するなどし、便秘の予防に努めている。		
45	(21) ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者個々の状態や希望に合わせて入浴を楽しめるように、こちらの都合でなくある程度の時間帯の中で、個々の希望にそった支援をしている。	週2～3回の入浴を基本とし、利用者個々の体調や希望に応じて日や時間帯などを柔軟に対応している。個浴の一般浴槽で、体調により必要時には2人介助を行い、安全に入浴できるよう支援している。同性介助の希望があれば同性で対応し、入浴拒否がある場合は声かけやタイミングを工夫したり、状況に応じてシャワー浴・足浴で対応する等、個別の配慮で対応している。ゆず湯・入浴剤等を使い、入浴をより楽しめるよう工夫している。	
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者は使用している薬の目的や副作用、用法や用量についても、看護師との連携により服薬管理を行い、その状態について適宜、医師に報告するようにしている。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所に至るまでの生活や趣味等の活動歴を把握し、利用者個々に気分転換が図れるように支援をしている。		

グループホームりんりんの里

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍のため、通常の外出行事は休止している。利用者個々の希望に沿って、施設の広い敷地内を散歩したり、事業所の中庭で外気浴やお茶会をしたり、菜園で水やりや収穫を行う等、戸外で気分転換したり活動できる機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望や能力に応じて、外出時に買い物ができるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に本人自らが電話をできるように事業所内の公衆電話を利用して支援をしている。また、年賀状等も馴染みの人などに書いてもらうようにしている。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	広々としたリビングは、両サイドに大きなガラス扉、吹き抜けの天井があり、明るく開放的である。床暖房と加湿器による温湿度管理、次亜塩素酸の空気清浄機の設置・定期的な換気や消毒により、快適で衛生的な環境整備を行っている。明るい木調の家庭的な雰囲気、テーブル席・ソファが数か所に設置され思い思いに過ごせる環境である。利用者と一緒に制作した季節感のある作品や季節の装飾品が飾られ、行事の写真が掲載された「しあわせ荘だより」を大きく拡大して掲示している。利用者が洗濯たたみや調理材料の下ごしらえ等に参加できる機会を設け、生活感を採り入れている。	

グループホームりんりんの里

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるようにテーブル、ソファを配置し、それぞれ思い思いの時間を過ごせるように工夫をしている。		
54	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みの物を使用できるようにし、できる限り馴染みの環境に近く居心地よく過ごせるような工夫をしている。	洋室9室の居室は、リビングに面した見通しの良い作りになっている。各居室に、押し入れ・洗面台・ベッド・消灯台等が設置されている。使い慣れた衣装ケース等が持ち込まれ、塗り絵やカレンダー等自身の作品が飾られている。利用者担当者が中心となり、衣替えや整理整頓など、環境整備を行っている。	
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、障害のある利用者でも、安心して生活できるように配慮した作りになっており、安全で自立した生活が送れるように配慮している。		